

令和5年度五城目町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

五城目町は、秋田県中央部西側に位置し、急峻な山岳地帯から肥沃な水田地帯まで変化に富んだ農業と林業の町として育んできた。

本町の水田は、水稻以外には適さない湿田が多く非主食用米の取組が増加しており、適地適作を進めてきたが、本町は県内でも高齢化率が非常に高く、農業者においては特に顕著であり、農業離れが加速していることから後継者の育成が重要課題となっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本町では農事組合法人等による高収益作物の生産拡大や集積を進めている。

県で奨励しているえだまめや地域で産地化を目指すいちじくやキイチゴ等の推進に取組んでおり、今後も産地として安定した作付、生産の振興を目指す。

主食用米からの転換を目指すための非主食用米の流通確保や土地利用型作物の生産向上や地域の特色ある作物の推進に取り組み、農産物直売所や販売店舗、関係機関と連携しながら収益力の向上や耕作放棄地の減少を図る。また、農家所得の向上のため地域の特色ある作物の作付拡大の推進に取り組み。

ほ場整備事業について動きのある地区も増えていることから、事業と並行して高収益作物作付に関する情報の周知も行う。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

農家戸数や農業就業人口は年々減少しており、高齢化が深刻化している中、担い手の育成・確保のため新規就農希望者の受入体制の充実、就農後のフォローアップ等を関係機関と連携して進めることが必要である。

離農や農業経営規模を縮小する農家の農地を法人や耕作可能な担い手農家に預けることにより、荒廃を防ぐことも必要であり、水田農業を保全し高収益化を進めながらバランスのとれた農地経営を目指す。また、連作障害を防ぐために大豆やそば等の転作作物と水稻に関してブロックローテーションの定着も推進する。そして、現地の作付状況を確認するなど調査点検を行い、需要に応じた米の生産・販売を進めるとともに野菜等の高収益な畑作物の本作化を進めるため、畑地化を含めた有効利用を検討していく。R4年度に引き続き、大豆の団地については明渠の設置、そばの団地については共同機械の利用を要件として設け、実績の推移を確認していく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

需要が減少しつつある中で、過剰作付の抑制、実需者の求める米づくりを推進するとともに、JAと連携し中食、外食向けの業務用の販路開拓に努め、需要に応じた

生産を推進する。

(2) 備蓄米

備蓄米については、水田主食用米の需要調整となる作物としても有効なため、入札結果に応じた生産振興を図る。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

当地域でも取組みを行っており、今後の増加が見込まれるため、需要の動向に注視し、多収品種による複数年契約を導入することにより安定した取引が行えるよう推進していく。

イ 米粉用米

作付の見込みは無い。

ウ 新市場開拓用米

作付の見込みは無い。

エ W C S 用稲

作付の見込みは無い。

オ 加工用米

加工用米については、主に取り扱っている集荷団体と連携し需要の動向を把握するとともに販路の開拓を進め、作付面積の維持・拡大と安定供給を目指す。

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦については、作付の見込みは無い。

大豆については、今後も転作の土地利用型重点作物として位置づけ、実需者の求めに応じた優良品種の作付を奨励し、また、適期収穫やほ場の団地化、高性能機械活用等の生産コスト低減効果により農家所得向上及び収量増を目標とし、作付拡大を推進する。

飼料作物については、不作付地を有効活用できる作物として位置づけ、畜産農家と連携した生産を推進する。

(5) そば、なたね

そばについては、水田フル活用の観点から、不作付地を有効活用できる作物として位置づけ、排水対策等の基本的管理技術の励行による収量・品質確保、地域の実需者との契約を基本として、連坦団地等により作業効率を高めることで作付拡大を図り、耕作条件不利地における不作付地の解消を目指す。

なたねについては、作付の見込みはない。

(6) 地力増進作物

今年度の作付けの見込みはないが、ほ場整備事業採択に向け動いている地区が増えているため、収益力向上の観点から作付け年度に向けて推進をしていく。

(7) 高収益作物

高収益作物については、県の重点推進野菜に位置づけられているえだまめの団地化を推進し、地域の奨励作物に位置づけられているいちじく、町で特産品として位置付けているキイチゴと共に生産面積の拡大、雨よけハウスの導入、栽培技術の研修会開催により生産性の向上を目指す。特に、えだまめについては主食用米の需要減少に伴い大豆と同様土地利用型の重点作物として作付を推進する。稲作に不向きな遊休農地の解消と、農家の収入向上として位置づけられているかぼちゃについてはJAと連携しながら面積拡大に取り組んでいく。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

7 産地交付金の活用方法の概要

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	895.4	0.0	917.0	0.0	917.0	0.0
備蓄米	159.1	0.0	160.0	0.0	160.0	0.0
飼料用米	44.5	0.0	35.0	0.0	35.0	0.0
米粉用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
WCS用稲	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加工用米	54.5	0.0	55.0	0.0	55.0	0.0
麦	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大豆	58.1	0.0	66.0	0.0	66.0	0.0
飼料作物	3.6	0.0	3.6	0.0	3.6	0.0
・子実用とうもろこし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そば	22.7	0.0	23.0	0.0	23.0	0.0
なたね	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地力増進作物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高収益作物	82.2	0.0	92.8	0.0	92.8	0.0
・野菜	77.2	0.0	86.5	0.0	86.5	0.0
えだまめ	23.9	0.0	30.0	0.0	30.0	0.0
きゅうり	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0
トマト	1.6	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0
なす	2.5	0.0	2.5	0.0	2.5	0.0
ピーマン	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0
かぼちゃ	29.2	0.0	30.5	0.0	30.5	0.0
キャベツ	1.4	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0
はくさい	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0
ほうれんそう	0.9	0.0	0.9	0.0	0.9	0.0
ねぎ	2.0	0.0	2.5	0.0	2.5	0.0
たまねぎ	0.9	0.0	0.9	0.0	0.9	0.0
だいこん	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0
にんじん	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
さといも	0.8	0.0	0.8	0.0	0.8	0.0
とうもろこし	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0
ばれいしょ	3.4	0.0	3.5	0.0	3.5	0.0
ながいも	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0

アスパラガス	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0
こまつな	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
せり	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0
にんにく	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ミニトマト	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0
オクラ	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
さつまいも	1.1	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0
食用菊	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
みょうが	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0
自然薯	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0
山ウド	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0
マコモタケ	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0
いちご	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
すいか	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0
メロン	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
レタス	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
サニーレタス	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
いんげんまめ	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ズッキーニ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ふき	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
あさつき	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ごぼう	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
行者ニンニク	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0
まくわうり	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
菊芋	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0
にら	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ゴーヤ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
さやいんげん	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ししとうがらし	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ブロッコリー	0.4	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
糸かぼちゃ	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
さやえんどう	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
しそ	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
春菊	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
そらまめ	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
チンゲンサイ	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ハヤトウリ	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
米ナス	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カリフラワー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

みずな	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
山の芋	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
しどけ	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
かぶ	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
とうがらし	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
小玉スイカ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
しょうが	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わらび	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ゼンマイ	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
シイタケ	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
きのこ類	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
アスパラ菜	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
・花き・花木	0.2	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0
ヒマワリ	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ユリ	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
トルコギキョウ	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
・果樹	4.5	0.0	5.7	0.0	5.7	0.0
キイチゴ	1.8	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0
いちじく	1.8	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0
ぶどう	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0
うめ	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
くり	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
ブルーベリー	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
カキ	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
・その他の高収益作物	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0
小豆	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
落花生	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
畑地化	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標	
				前年度（実績）	目標値
1	大豆（基幹作物）	団地化加算助成（大豆）	作付面積 （交付対象面積）1ha以上の団地化 10aあたり平均単収	（令和4年度） 58.1ha 46.6ha 16kg/10a	（令和5年度） 66.0ha 42.0ha 120kg/10a
2	そば（基幹作物）	団地化加算助成（そば）	作付面積 （交付対象面積）20a以上の団地化 10aあたり平均単収	（令和4年度） 22.7ha 19.3ha 0kg/10a	（令和5年度） 23.0ha 18.0ha 23kg/10a
3	野菜、果樹、花き、その他の高収益作物（別紙「助成対象作物一覧」のとおり）（基幹作物）	土壌分析導入作物、学校給食食材提供作物助成	作物面積 （交付対象面積）	（令和4年度） 23.50ha 2.62ha	（令和5年度） 25.00ha 3.50ha
4	えだまめ（基幹作物）	振興作物助成（えだまめ）	作物面積 （交付対象面積）	（令和4年度） 23.9ha 3.1ha	（令和5年度） 30.0ha 4.0ha
5	野菜、果樹、花き、その他の高収益作物（別紙「助成対象作物一覧」のとおり）（基幹作物）	振興作物助成	作物面積 （交付対象面積）	（令和4年度） 23.50ha 8.41ha	（令和5年度） 25.00ha 9.50ha
6	えだまめ（基幹作物）	団地化助成（えだまめ）	作物面積 （交付対象面積）50a以上の団地化	（令和4年度） 23.9ha 19.9ha	（令和5年度） 30.0ha 23.0ha
7	キイチゴ、いちじく（基幹作物）	振興作物助成（キイチゴ、いちじく）	作物面積 （交付対象面積）	（令和4年度） 3.6ha 2.3ha	（令和5年度） 4.8ha 4.2ha
8	そば、なたね（基幹作物）	そば、なたね振興作物助成	作物面積 （交付対象面積）	（令和4年度） 22.7ha 22.0ha	（令和5年度） 23.0ha 22.5ha
9	かぼちゃ、ねぎ（基幹作物）	振興作物助成（かぼちゃ、ねぎ）	作物面積 （交付対象面積）	（令和4年度） 31.2ha 9.4ha	（令和5年度） 33.0ha 12.0ha
10	レンゲソウ、クローバー（基幹作物）	基盤整備地力増進作物助成	作付面積	（令和4年度） 0.0ha	（令和5年度） 0.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：秋田県

協議会名：五城目町農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等図
1	団地化加算助成(大豆)	1	32,000	大豆	一団となっている1ha以上の作付
2	団地化加算助成(そば)	1	4,000	そば	一団となっている20a以上の作付
3	土壌分析導入作物、学校給食食材提供作物助成	1	24,000	野菜、果樹、花き、その他の高収益作物	土壌分析を実施し、地元学校給食へ出荷・販売
4	振興作物助成(えだまめ)	1	28,000	えだまめ	出荷・販売
5	振興作物助成	1	8,000	野菜、果樹、花き、その他の高収益作物	出荷・販売
6	団地化助成(えだまめ)	1	44,000	えだまめ	一団となっている50a以上の作付
7	振興作物助成(キイチゴ、いちじく)	1	24,000	キイチゴ、いちじく	出荷・販売
8	そば、なたね振興助成	1	20,000	そば、なたね	出荷・販売
9	振興作物助成(かぼちゃ、ねぎ)	1	24,000	かぼちゃ、ねぎ	出荷・販売
10	基盤整備地力増進作物助成	1	0	レンゲソウ、クローバー	有機栽培や高収益作物等への転換に向けた土づくりの取組

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

(整理番号3及び5 別紙)

助成対象作物一覧

野菜

きゅうり	トマト	なす	ピーマン	キャベツ	はくさい	ほうれんそう
たまねぎ	大根	人参	さといも	とうもろこし	ばれいしょ	長いも
アスパラガス	小松菜	せり	にんにく	ミニトマト	オクラ	さつまいも
食用菊	みょうが	自然薯	山ウド	マコモタケ	いちご	すいか
メロン	レタス	サニーレタス	いんげんまめ	ズッキーニ	ふき	あさつき
ごぼう	行者ニンニク	まくわうり	菊芋	にら	ゴーヤ	さやいんげん
ししとうがらし	ブロッコリー	糸かぼちゃ	さやえんどう	しそ	春菊	そらまめ
チンゲンサイ	ハヤトウリ	米ナス	カリフラワー	みずな	山の芋	しどけ
かぶ	とうがらし	小玉スイカ	しょうが	わらび	ぜんまい	しいたけ
きのこ類	アスパラ菜					

果樹

ぶどう	うめ	くり	ブルーベリー	カキ
-----	----	----	--------	----

花き

ヒマワリ	ユリ	トルコギキョウ
------	----	---------

その他の高収益作物

小豆	落花生
----	-----